

2022年1月25日

医療機材を通じた保健システム強化計画（UNOPS連携）
トリニダード・トバゴ引渡式

1月25日、保健省において、医療機材を通じた保健システム強化計画によって調達された医療機材の引渡式が行われました。引渡式では、ベリーズ、ガイアナ、スリナムを含む4か国に対する総額460万米ドルの支援のうち、トリニダード・トバゴの保健システム強化のために供与された第2便の機材が引き渡されました。

トリニダード・トバゴに対しては、インフュージョンポンプ40台、集中治療室患者モニター15台、可搬型超音波スキャンシステム15台、病院用ストレッチャー15台、集中治療用ベッド15台が供与される予定です。

平山大使は、デヤルシン保健大臣、ウィーラーWHO／PAHO代表、ロッシUNOPSコスタリカ事務所長他と式典出席し、挨拶の中で、トリニダード・トバゴと日本は共有する価値観に基づき、長年にわたり良好な関係を築いてきたことを強調し、日本政府は引き続き、コロナ感染症の収束に向けた国際協力に取り組むことを再確認しました。最後に、平山大使は今回のカリブ地域での任期も終わりに近づき、コロナ渦での困難な状況にも関わらず、歓待と支援を頂いたことに謝意を述べました。

デヤルシン大臣は、コロナ禍対策に最も必要な医療機材の提供をしてくれた日本政府と国民に感謝し、供与機材を不可欠な医療の場に使用することを約束しました。また過去58年間にわたる長年の両国の関係を称賛し、今後も共通の価値観に基づき関係を強化していくこと述べました。またデヤルシン大臣は、平山大使がトリニダード・トバゴで素晴らしい思い出を残して帰られることを願うと述べました。

日本政府は、カリブ海諸国との友好関係や相互理解を促進し、小さな島国特有の脆弱性を克服するため、防災、環境、エネルギー、廃棄物管理、漁業の分野で引き続き支援を行っていきます。

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本大使館
Tel: + (1-868) 628-5991

医療機材を通じた保健システム強化計画トリニダード・トバゴへの医療機材引渡式の様子
(2022年1月25日)
於：トリニダード・トバゴ保健省



平山大使挨拶



デヤルシン保健大臣挨拶



平山大使からデヤルシン大臣へ医療機材の引渡し



コスタリカから参加したロッシ UNOPS 所長



デヤルシン大臣、平山大使、ウィーラーWHO/PHO 所長